

- (5) サービス成果（＋・－）の持続性（時間的経過）
- (6) インプット・アウトプットを保存できない（労働力、病室など）
- (7) 事後的リスク問題（人為的、処理的、判断的）

これまで考察してきたように、病医院を中心とする医療機関の環境は、少子、高齢社会化による医療費の負担問題、医療技術の加速度的発展による医療機関の経営と会計問題、健康で自立する高齢社会のライフスタイルの問題とそれに関連するビジネス、雇用、家庭生活などの全般に関する問題の解明が、大きな課題となる。

本研究では、そうした問題を踏まえながら将来の医療機関の管理会計について考察することを目的としている。

（経営学部非常勤講師）

「環境投資に関する諸論と環境会計」

高瀬 智章

諸研究者・機関が提示している環境投資概念の多様性と曖昧さ、事例等を概観した上で、環境投資の定義と環境投資概念を積極的に用いた環境会計技法の有用性を考察する。

（所属 城西大学経済学部等非常勤講師）